

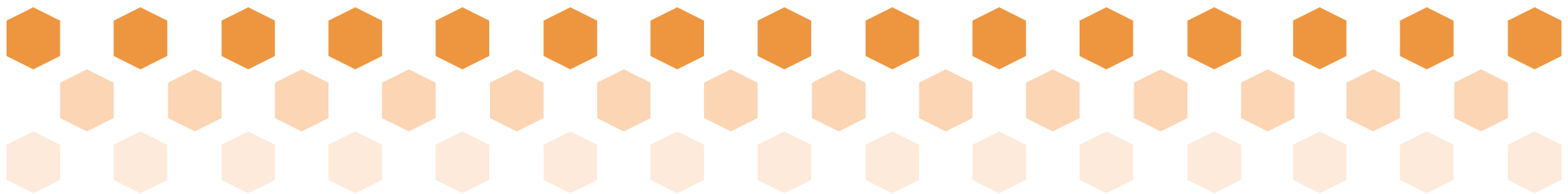


Japan.
Committed
to SDGs



食品産業とSDGsのつながり

農林水産省
食料産業局



- I SDGsとは
- II 最近の動き
- III SDGsで気をつけるべきこと
- IV SDGsと食品産業
- V 企業インタビューから
- VI 17の目標と食品産業のつながり

I -1 SDGsとは～特徴

- SDGsは、2015年9月の国連サミットで150を超える加盟国首脳参加のもと、**全会一致で採択**された「**持続可能な開発のための2030アジェンダ**」に掲げられた「持続可能な開発目標」
- すべての国の社会課題を対象とした**17のゴール**と、その課題ごとに設定された達成基準である**169のターゲット**から構成される。このゴールとターゲットによって、包括的で持続可能な社会の構築を目指す。
- SDGsでは、貧困や飢餓から環境問題、経済成長やジェンダーに至る広範な課題が網羅されており、**豊かさを追求しながら地球環境を守り**、そして**誰一人取り残さない**ことを強調し、2030年までに達成することが目標とされている。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 世界を変えるための17の目標



- すべての国と人に関係（普遍性）
- 平均ではなく一人ひとりに焦点（包摂性）
- みんなで取り組む（参画型）
- 経済・社会・環境のすべての分野で、バランスをとりながら実行（統合性）
- 言い放しはダメ（透明性と説明責任）

I - 2 SDGsとは～目標の前提

Transforming our world: the 2030 Agenda for Sustainable Development

我々の世界を**変革**する：持続可能な開発のための2030アジェンダ

(抜粋)

すべての国とすべてのステークホルダーは、**協同的なパートナーシップ**の下、この計画
を実行する。

私たちは、人類を貧困と欠乏の圧政から解放し、**地球を癒やし安全に**することを
決意している。

私たちは、世界を**持続的で強靱な路線**に移すために、緊急に必要な、**大胆で変革
的な手段**をとることを決意している。

私たちはこの共同の旅に乗り出すにあたり、**誰一人取り残さない**ことを誓う。

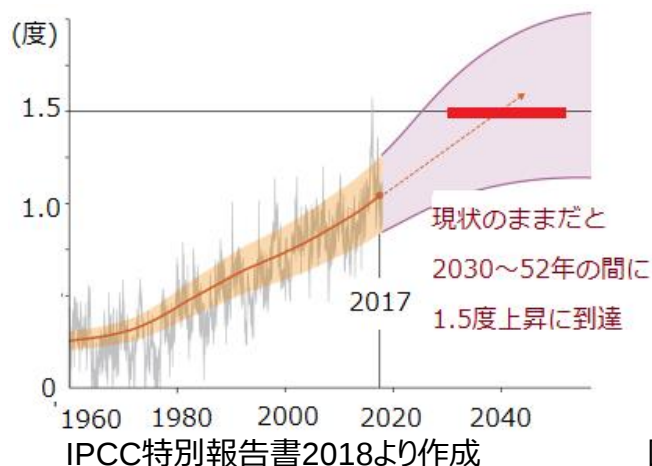


I - 3 SDGsとは～2030年の地球と日本とSDGs

地球環境問題の深刻化

世界人口の増加

日本人口の減少



2015年
74 億人



2030年
82～89 億人

国連:World population Prospects 2017

2015年
1.27 億人



2030年
1.17～1.22 億人

国立社会保障・人口問題研究所推計2017

農産物の減収・品質低下
大規模災害の発生
生活・作業環境の悪化

資源の争奪戦

労働力不足
国内需要の減退

2030年はこれまでの人類が経験したことのない世界

大きな変化に耐えて、Sustain（維持）able（できる）
になるためには、「**変革**」が必要



I -4 SDGsとは～SDGsのプレイヤー

パートナーシップ

各国政府

- ・国際社会での主導力の獲得（国連、G20、G7等）
- ・長期戦略の土台

企業

- ・本業としてSDGsを推進
（価値創造・リスク管理・コミュニケーション）

投資家・金融機関

- ・ESG金融（E：環境、S：社会、G：ガバナンスに配慮した投資や融資）による長期的リターンの獲得

地方自治体

- ・地方の魅力・強みを活かしつつ、持続可能なまちづくりの柱としてSDGsを推進

市民社会

- ・一人ひとりが「自分ごと」として取組
- ・SDGsを通じて様々な主体と連携

Ⅱ - 1 最近の動き～若者・次世代

- ミレニアル世代や就活生などに対するSDGsアピールが活発化
- ESD（持続可能な開発のための教育）の推進により、学校教育の中にもSDGs
- 次世代発の様々なアクション（Fridays for future等）



「SDGsネイティブ」であるミレニアル世代のプレゼンスが投資家・従業員・消費者として向上する中、SDGs経営は投資・人材・顧客獲得の重要なカギ



Fridays For Future
グレタ・トゥーンベリさん
（当時15歳）の行動
から世界に広がった子供達による気候ストライキ

Ⅱ-2 最近のうごき～金融機関

- ESG金融が、直接金融から間接金融へ拡大しつつあり、地方銀行の動きも活発化
- 「地方創生SDGs金融」に関する検討が進行→第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」へ

地方創生SDGs金融商品・サービス例の概要

例

金融

- 地域事業者のSDGsに資する取組に対し、その取り組みを評価し、**低金利などの柔軟な条件**で融資を提供する
- 銀行による融資提供を行うと同時に、地域事業者のSDGsに関する取組に対し**他のサービスも一部無料**で提供する場合がある

- 鳥取銀行-とりぎん地方創生応援ローン:地方創生に資する事業について、**下限金利は0.7%**にしている。融資以外に、**補助金や助成金の行政情報の共有**などのサービスも無料で提供
- 福岡銀行-FFGエコローン:地域事業者の環境への取り組みを評価し、**最大で0.3%の金利引き下げ**を行う

非金融・ その他付随サービス等

- 地域事業者がSDGsに取り組む中で直面している経営課題に対し、**自社のコンサルティングサービス**を提供する
- 地域事業者の課題が自社コンサルティングサービスだけでは解決できない場合、**業務連携している他社を紹介**する

- 静岡銀行-しずぎん成長分野応援プロジェクト:地域事業者の新たな成長分野への進出支援や、海外進出支援など**各種課題解決の提供**を通じて、**成長分野への事業展開を支援**する

- 地域事業者のSDGsへの取り組みに関するニーズについて、商談会または個別ヒアリングを通じて、**ビジネスパートナーとの出会いの場をコーディネート**する
- 紹介したビジネスパートナーとの事業連携を通じて、事業者のビジネスの成長を支援する

- 滋賀銀行-SDGsビジネスマッチングフェア:毎年**SDGsに特化する展示商談会**を催す
- 鳥取銀行-ビジネスマッチング:鳥取銀行のネットワークを活用して、地域事業者のニーズに対し**最適なパートナーを紹介**する

- SDGsに取り組む地域事業者の人手不足問題に対し、**自社のネットワークや情報提供**を通じて支援する
- 地域事業者ニーズと社員数のギャップに応じて、**自社の人材を派遣し、直接に人材確保の支援**を行う

- 紀陽銀行-人材確保支援:**合同地域事業者説明会の開催、人材紹介会社とのマッチング、外国人材活用の情報提供と自社社員による出向の方法**を通じて取引先地域事業者の人材確保の支援を行う

- SDGsに取り組む地域事業者の経営層に対し、**定期的にface to faceで交流できる会員制サービス**を提供する
- 大学教授および有識者によるセミナーだけでなく、他の**有力地域事業者や大学との情報交換と議論の場を定期的に設ける**ことで、地域事業者によるSDGs取組の活性化を目指す

- 静岡銀行-Shizigin:ship:入会した経営者に対し講演会、セミナー、会員交流会と視察など幅広い**イベントを通じて**、経営者に**経営知識とノウハウを提供**し、経営者同士の**人脈形成**を目指す

Ⅱ－３ 最近のうごき～地方自治体

- 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（2018改訂版）では、地方創生の一層の推進に当たって、SDGsの主流化をはかり、SDGs達成に向けた観点を取り入れ、経済、社会及び環境の統合的向上などの要素を最大限反映することを位置づけ。
- 内閣府地方創生推進室では、自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する都市を「SDGs未来都市」として選定。（2018年度：29都市、2019年度：31都市）

○SDGs未来都市（2018年度・2019年度）

都道府県	市町村			
北海道	北海道札幌市	神奈川県横浜市	愛知県名古屋市	岡山県岡山市
神奈川県	北海道二セコ町	神奈川県川崎市	愛知県豊橋市	岡山県真庭市
長野県	北海道下川町	神奈川県鎌倉市	愛知県豊田市	岡山県西粟倉村
愛知県	岩手県陸前高田市	神奈川県小田原市	三重県志摩市	山口県宇部市
滋賀県	宮城県東松山市	新潟県見附市	京都府舞鶴市	徳島県上勝町
広島県	秋田県仙北市	富山県富山市	大阪府堺市	福岡県北九州市
富山県	山形県飯豊町	富山県南砺市	奈良県生駒市	福岡県大牟田市
	福島県郡山市	石川県小松市	奈良県三郷町	福岡県福津市
	栃木県宇都宮市	石川県珠洲市	奈良県広陵町	長崎県壱岐市
	茨城県つくば市	石川県白山市	奈良県十津川村	熊本県熊本市
	群馬県みなかみ町	福井県鯖江市	和歌山県和歌山市	熊本県小国町
	埼玉県さいたま市	静岡県静岡市	鳥取県智頭町	鹿児島県大崎町
	東京都日野市	静岡県浜松市	鳥取県日南町	鹿児島県徳之島町
				沖縄県恩納村



(参考) 長野県SDGs推進企業登録制度



- ①経営方針や「環境・社会・経済」の重点的な取組を目標設定とともに宣言（要件1）
 ②SDGsの17ゴール・169ターゲットと紐付けた42の具体的な項目を提示し、項目ごとに企業等の取組を記載（セルフチェック）（要件2）
 →2019年7月に第1期登録企業等として80社を登録
 （2020年4月末までに合計4回の登録を予定）



○セルフチェックシート（要件2）（抜粋）

チェック項目	取組レベル	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本								8.5 8.8									
【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			3					8									
【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			3														
【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							

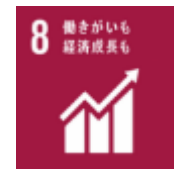


Ⅲ SDGsで気をつけるべきこと

SDGsが求める社会課題に、十分取り組んでいるか

- 一つの目標だけ見てはいけない

例えば・・・食品ロスを減らすには労力が必要
→適正なバランスと、判断を助けるルールが重要



VS



- サプライチェーン全体をみななければいけない

例えば・・・自社では捨てたくないから賞味期限間近の商品は取引先に返品
→協働で社会全体の問題を解決

- 「SDGsウォッシュ」ではいけない



Whitewash
うわべだけの
白塗りでごまかした



- 令和の感覚で考えなければいけない（ゲームのルールが変わっている）

一番の抵抗勢力は「社内のベテラン」

取組を十分発信できているか

- 実はこれまでも大切にしてきたことが多いが（地域のために。お客様の幸せ。社員は家族。）あえて言わなかった
- 低い日本企業のESG評価



IV SDGsと食品産業

- SDGsは、現在、企業に求められている様々な変革とイノベーションを先取りしており、食品産業においても、SDGsを経営戦略に取り込み、ビジネスを通じた社会的課題の解決を目指す動きが活発化。
- 農林水産省食料産業局では、こうした動きを応援をすべく、特設サイトを設け、食品産業によるSDGs関連の取組を実例とともにわかりやすく発信。

～食品産業にとっての価値～

社会課題解決によるビジネスチャンス

栄養改善・健康に関する製品・サービスの提供、環境対応技術の商品化など

将来のビジネスリスクへの対応

地球温暖化対応、持続可能な資源調達、働き方改革など

SDGsを軸にしたパートナーシップ

他社・団体との協働、NGOや自治体との連携など

企業価値の向上・コミュニケーション

様々なステークホルダーが、企業のSDGs関連の取組を注視

「SDGs × 食品産業」特設サイト

SDGs 食品

検索



＜特設サイトの主な内容＞

- 1) 先行企業がSDGsに取り組むアプローチや、取組の効果などをインタビューして紹介
- 2) SDGsの17の目標ごとに、食品産業とのつながりや先行企業による事例を紹介

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 食品産業

～持続可能な社会と食品産業発展のために私たちにできること～

17の目標と食品産業

SDGsとは?

食品産業にとっての価値

始まった食品事業者の取組

関連サイト



【伊藤園】

耕作放棄地などを利用した茶産地育成

▼茶産地育成事業の推移

生産量 (トン) 茶産面積 (ha)



14社のインタビューを掲載！

To Be Continued



11

V 企業インタビューから～SDGsに取り組んだ理由は？

- ✓ SDGsの目指すものと会社の方向性が一致していたから
(こころとからだの健康、食品の安定供給、コミュニティへの恩返し、人と自然と響き合う、働きがいのある企業、人のために働く、心豊かな暮らし……)

企業理念の強化

- ✓ 事業を100年先も継続するためには、社会で求められていることに応える必要があるから
(SDGsは「目指すべき未来」)

成長の方向性・アウトサイドイン・バックキャスト

- ✓ 本業を通じて社会に貢献したいから
- ✓ 国連の定めた目標を参照することで、独りよがりの目標ではなくなるから

- ✓ SDGsが広範な課題を網羅しているので、企業の責任や、事業のリスクを総点検する「ものさし」として使えるから (重要課題分析や、ISO14001の検討項目として活用)

ビジネスリスク

- ✓ 社会の変化の中で、様々なステークホルダーへの目配りが必要となったから
- ✓ 「豊かな自然」と「安定した社会」を基盤として事業が成立しているから
- ✓ 事業活動に伴う「負の影響」(人権問題・環境への負荷)を減らすことを求められているから

- ✓ 従業員に、社会と自分たちとのつながりを意識して欲しいから

人材

- ✓ 人材を引き寄せる会社づくりのため (やりがいの向上、ダイバーシティ、働き方改革、健康経営)

- ✓ SDGsは世界の「共通言語」であり、立場を超え、年齢を超え、国籍を超え、会社の目指す姿を伝えやすいから (SDGsはステークホルダーからの「共感」の柱)

コミュニケーション

- ✓ アイコンによって目標を意識しやすいから



VI 17の目標と食品産業のつながり



17の目標と食品産業とのつながり

SDGsの各目標を食品産業の視点を加えて解説し、先行企業の具体的な事例も目標別に紹介しています。
 関心のある目標をクリックしてご覧ください



ひとつの取組が複数の目標に貢献することが多いですが、特設サイトでは主な目標に絞って1事例1目標とし、各社1～2事例をご紹介します。

<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/sdgs/index.html#a0>

17の目標と食品産業

検索



目標 1 : 地球上のあらゆる形の貧困をなくそう

食品産業とのつながり

- 所得が食事の内容に影響する「食の格差」が指摘。
- 所得によって教育への機会格差が生じ、将来の人材確保に影響。
- 食品産業の多くが海外に原材料を依存する状況では、持続可能な農林水産物の確保に向けて、生産者の生活を安定させる必要。

【モスフードサービス】

- ・子供食堂の支援
- ・こども110番の店
- ・子育て支援サポート

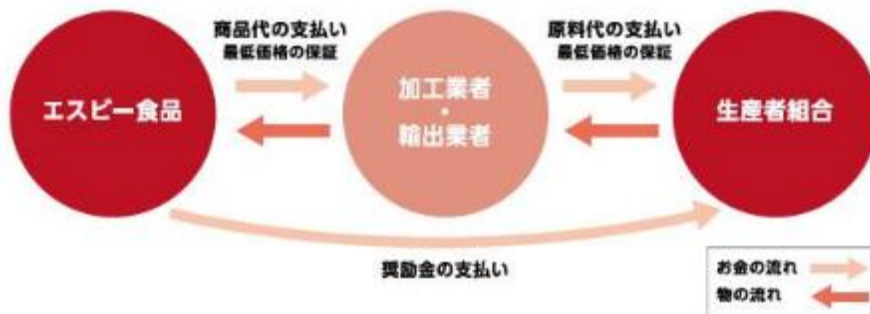


食への関心の低下の解消
未来のモスファンづくり
地域行政との連携



【エスビー食品】

フェアトレード認証付き
商品の展開
市場より高い価格での
購入を保証 + 生産者
の生活向上に使える
奨励金を支給



【コープさっぽろ】

返品商品を利用した
「フードバンク」



目標 2 : られるよう、地球の環境を守り続けながら農業を進めよう



食品産業とのつながり

- 食品産業は多様な栄養素を含む食品の安定供給を通じて、目標の達成に中心的な役割。
- どんな食品でも極端に食べ過ぎれば栄養バランスは崩れることから、正しい知識とともに食品を提供することも重要。
- 国内外の原料生産者との連携により、持続可能な農業に貢献している事例も多数。

【味の素】

うま味を通じてたんぱく質・野菜をおいしく摂取し、
栄養バランス改善

味の素グループ製品による野菜の摂取量（2020年目標）



【伊藤園】

耕作放棄地などを利用した茶産地育成



【キューピー】

一皿でいろいろな栄養素を摂れる「パワーサラダ」の
提案



【カゴメ】

加工用トマト生産者の高齢化に対応した収穫機の
開発





目標 3 : だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしよう

食品産業とのつながり

- 食品産業は、食品や関連製品・サービスの提供を通じて、健康に大きく貢献することが可能。
- 食品による健康被害は未然に防止する必要。「健康に悪い食品をつくる企業」と認識をされてしまうことが、大きな経営リスク。
- 安定した企業活動のためには、従業員や取引先、原料生産者等の健康の維持が不可欠。

【ヤクルト本社】

国内外においてヤクルトレディによる健康に寄与する製品のお届け、健康的な生活習慣の定着に向けた啓発活動や地域貢献活動の取組

国内では小学校への出前授業や高齢者の見守り等地域社会づくりに貢献

【日本ハム】

食物アレルギー対応の商品開発

食物アレルギー検査キットの開発や情報発信、研究・医療分野の研究助成

【雪印メグミルク】

乳酸菌・ミルクの健康機能の追及や容器包装などに関する研究

先天性代謝異常症治療特殊ミルクの提供

【ローソン】

健康に配慮した食品の提供、店頭でのセルフメディケーションサポートを実施

社員自身が健康になる「健康経営」の推進

- ・ ローソンヘルスケアポイント
- ・ 元気チャレンジ
- ・ ローソン大運動会での大人の体力測定 等



目標 3 : だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしよう (つづき)

【アサヒ飲料】

乳酸菌に関する基本的な知識や製品の良さを社内外に伝える人材「乳酸菌マスター」を育成し「乳酸菌勉強会」を実施

【マルイ】

毎月19日を「マルイ食育の日」とし、栄養バランスやアレンジメニューなど、食に関する情報発信

地域に根差した 食育事業



【三井製糖】

体内でゆっくり消化吸収される「スローカロリー」な製品の開発



【サッポロホールディングス・ポッカサッポロフード&ビバレッジ】

行政と連携し、レモンの研究を通じて地域の皆様の健康づくりに貢献





目標4：に渡って学習できる機会を広めよう

食品産業とのつながり

- 食生活の乱れや、3Rに関する認知度の低下等が課題となっており、食品産業も、食育や環境教育などに、より深く関わっていく必要。
- 従業員や、原料生産者等のステークホルダーの資質向上が、安定した企業経営には不可欠。

【森永乳業】

- ・ 子供たちが生きる力を身につけるための野外教育活動
- ・ 中高生を対象とした企業インターンワーク

【アサヒ飲料】

商品を題材にした社員参加の出前事業

- ・ 『カルピス』こども乳酸菌研究所（微生物や、ものづくりに関する学習）
- ・ 「三ツ矢サイダー」水の未来と環境教室（こどもSDGsスクール）

【ユニー】

- ・ ESD(持続可能な開発のための教育)の考え方を取り入れた環境学習の推進
- ・ 共に活動する消費者や行政、取引先、同業者を対象にした環境講習・見学会

【マルイ】

「食の専門家」育成のため、従業員の資格取得を全面サポート

取得できる資格（一部抜粋）



【敷島製パン】

中高生を対象に、“ゆめちから”の栽培とパン作りの研究プログラムを実施





目標5：し可能性を広げよう

食品産業とのつながり

- 食品産業は他産業に比べて女性の就業率が高い産業。
- 人手不足が深刻化する中で、将来にわたって優れた人材を確保するためには、女性が働きやすい職場環境や、その能力が育ち活躍しやすい仕組みの構築が不可欠。

【味の素】

- ・「女性人材の育成委員会」を設置し、女性従業員一人ひとりのポテンシャルと専門性、スキルを把握して計画的に育成
- ・メンター制度を導入

【日本コカ・コーラ】

女性の活躍支援プロジェクト「5by20」(※)を通じて、製品原材料を生産する「酪農女子」や「茶農業女子」を支援
(※2020年までに世界で500万人の女性を支援するというグローバルの取組)



【ヤクルト本社】

- ・日本発のヤクルトレディを海外12カ国でも展開
- ・国内1200カ所の保育所を設置
- ・研修の充実
- ・労働環境の改善





目標 6 : でずっと管理していけるようにしよう

食品産業とのつながり

- 食品産業は、自らの事業で多量の水を消費するだけでなく、食品の原料となる農産物や資材の生産過程でも莫大な水を消費。
- サプライチェーン全体を通じて安全な水が持続的に確保されることが、企業の将来に不可欠。

【サントリーHLDS】

- ・サントリー天然水の森による水源涵養
(2020年までに工場で汲み上げる地下水の量の2倍を森ではぐくむ目標)



【明治】

- ・水の適正管理および節水に配慮した設備導入等による水使用量の削減
- ・化学物質の適正管理による排水の水質確保
- ・水リスクの把握と低減対策





目標 7 : 利用できるようにしよう

食品産業とのつながり

- 今後の石油需給のひっ迫は避けられないことから、食品産業を含む全産業にとって、さらなる省エネルギーの推進と、再生可能エネルギーへの転換が必要
(省エネ法の努力目標：エネルギー消費原単位を年平均1%以上低減)

【アレフ】

- ・自社の食品廃棄物を自らリサイクルし、再生可能エネルギーを生産

■ バイオガスプラントのフロー



【ファミリーマート】

- 店舗におけるCO2削減を積極的に推進
- ・店舗の屋根を有効利用した太陽光発電
- ・店内照明のLED化・自動調光
- ・LED看板の導入
- ・駐車場照明のLED化



目標 8 : もが人間らしく生産的な仕事ができる社会を作ろう



食品産業とのつながり

- 労働力不足の中で、魅力ある人材を惹きつけるためには働き方改革が不可欠。
- 勤務時間の短縮・柔軟化や女性・高齢者に配慮した職場環境の改善を図るほか、IT化・ロボット化を含めた設備投資を積極的に進めるなど、働く場としての魅力や生産性を高めることが重要。

【カルビー】

- ・コミットメント&アカウントビリティ制度の導入
- ・株式付与「ESOP」の導入
- ・モバイルワークの回数/場所制限の撤廃



【モスフードサービス】

加盟店の自主組織（モスバーガー共栄会）の支援
モスバーガー共栄会の仕組み



【ニチレイフーズ】

- ・経営層と従業員の対話の場『あぐら』を開催
- ・『社長動画メッセージ』の継続
- ・全国の各部署から選出されたハミダスフレンズとともに様々な組織の壁をハミだした啓発活動（ハミダス活動）を推進

【カゴメ】

- ・20時以降の残業を原則禁止
- ・在宅勤務制度・選択制時差勤務制度の導入
- ・スケジューラーにより各自の勤務時間を見える化し、勤務時間の週次マネジメントを高度化
→2020年度までに年間総労働時間1,800時間に

目標 9 : に役立つ安定した産業化を進めよう



食品産業とのつながり

- 技術開発により多くの新商品を生み出してきたことが日本の食品産業の強み。
- 超高齢化社会を踏まえ、機能的、健康、介護などに配慮した製品づくりへのニーズ。
- 人手不足により、機械化やIoTを活用した省人化の取組が重要に。

【ローソン】

IT技術を最大限活用した次世代型店舗づくり

- ・全店でのタブレット端末によるワークスケジュール表示
- ・新型POSレジ導入（オールタッチパネル式、自動釣銭機、ナビゲーション機能、多言語表示対応）
- ・RFIDの実証実験
- ・「ローソンイノベーションラボ」の開設



【ロッテ】

高齢化社会の悩みに応えるロッテノベーション

記憶力を維持すると報告されている「イチョウ葉抽出物」を配合したお菓子の開発に取り組み、機能的表示食品として商品化。



体にいいものを手軽においしく摂りたい！

ロッテノベーション！



目標 10：世界中から不平等を減らそう

食品産業とのつながり

- 食品産業は女性就業比率、高齢者の就業割合、非正規労働者やパートタイム労働者の就業割合率が高く、多様な人材が差別を受けることなく活躍できる環境づくりが必要。
- 直接取引する一次サプライヤーだけではなく、2次、3次サプライヤーの人権・労働問題についても、配慮が必要。

【セブン&アイHLDS】

外国人従業員レジ接客研修で、日本の文化、接客の基本から実務までを実践的に習得



【ハウス食品グループ本社】

特例子会社「ハウスあいファクトリー株式会社」において、障がいを持つ社員も本業であるスパイス製品の生産を実施



【アサヒグループHLDS】

英国現代奴隷法へのコミットメントと自社の現代奴隷リスクの分析

（英国現代奴隷法のポイント）

- ✓ 企業は毎年「人権（強制労働と人身取引）に関する声明」を作成する
- ✓ 声明は、取締役会で承認されなければならない
- ✓ 声明は企業のウェブサイトの目立つ場所で公開すること
- ✓ 公表義務であり、実行義務ではない



目標 1 1 : だれもがずっと安全に暮らせて災害にも強いまちをつくろう

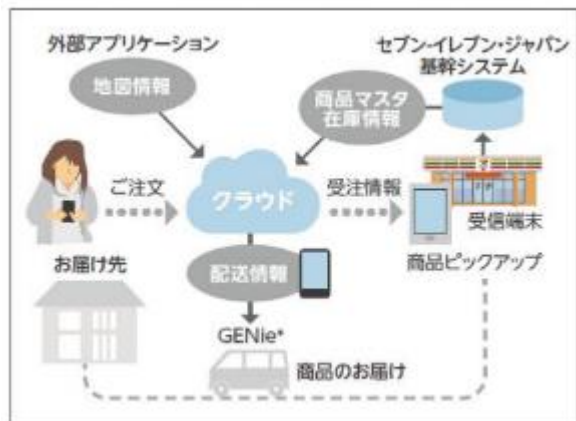
食品産業とのつながり

- 街の安全と賑わいが維持されることは、顧客の獲得や労働力の確保などの観点から、事業の継続性に不可欠。
- 災害の多発は、顧客の生活の安全、食品産業の操業や原材料の調達を脅かすことから、それに備えたBCP（事業継続計画）の策定や、強靱な事業体制が必要。

【セブン&アイHLDS】

ネットコンビニの導入（北海道・広島一部地区で実施し、順次拡大予定）

ネット上でリアル店舗の商品の注文ができる仕組み



※ セイノーホールディングスとの協業によるセブン-イレブンのお届け専用会社

【コープさっぽろ】

- ・コープ宅配システム「トドック」の拠点配置の見直しによる配送効率化
- ・北海道内の市町村と「高齢者見守り協定」を締結

高齢者見守り協定締結数
174市町村（2018年）

【シジシージャパン】

- ・災害マニュアルを都度更新し、CGCグループ加盟企業の体験や知恵を集約・共有
- ・大規模災害時、全国から物資供給





目標 12： るよう、責任ある行動をとろう

食品産業とのつながり

- 食品産業の事業活動により、エネルギー・資源の消費、温室効果ガスの発生、食品ロスを含む廃棄物の排出など、環境に対して様々な負の影響。
- この目標に主体的に取り組むことで、SDGsに掲げられた他の目標に貢献するだけでなく、企業にとっても中長期的なコスト削減や、企業評価の向上に。

【日本コカ・コーラ】

- 「容器の2030年ビジョン」発表
- ・リサイクルPET・植物由来PETの使用拡大
 - ・国内のPETボトルと缶の回収・リサイクル率の向上
 - ・地域の美化

【コープこうべ】

- ・フードバンク・こども食堂の支援



【イオン】

持続可能な「調達原則」「調達方針」および「調達2020年目標」に基づいた調達

- | | |
|------|---------|
| 農産物 | 畜産物 |
| 水産物 | 紙パルプ・木材 |
| パーム油 | |

【湖池屋】

食品廃棄物等のリサイクル



【永谷園HLDS】

- 食品ロスの削減
- ・75アイテムの賞味期限延長
 - ・需要予測の精度向上



【不二製油グループ本社】

- パーム油のサプライチェーン改善
- ・トレーサビリティの向上によるサプライチェーンの把握
 - ・現地での改善支援
 - ・サプライヤーとのエンゲージメント



目標 1 3 : 気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう

食品産業とのつながり

- 地球温暖化により、食品の原料となる農林水産物の供給に大きな影響。
- 災害の多発による操業等への影響。
- 食品産業は、温室効果ガスの発生源のひとつ。

【キューピー】

500km以上の長距離トラック輸送を、鉄道・船舶でのコンテナ輸送へ（モーダルシフト）

2018年度目標
モーダルシフト化率 **50%**

【日本マクドナルド】

PDCAシステムを活用した店舗の省エネルギー化

- ・プラントメンテナンス
- ・設備機器のON/OFF管理
- ・LED照明/デマンド監視装置

【アレフ】

北海道工場でのエネルギーマネジメント規格「ISO50001」の運用

光熱費
前年度比：**4.71%低減**

【昭和産業】

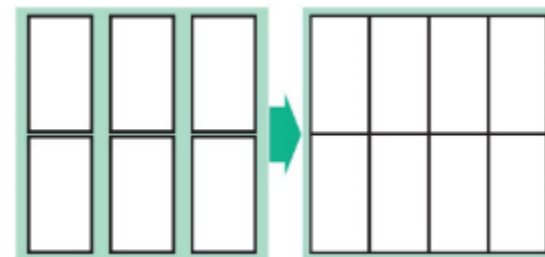
- ・都市ガスエンジンコジェネレーション設備による高効率な発電と熱の供給
- ・製造工場移管による輸送距離短縮



【シジシージャパン】

段ボールモジュール化（段ボールの大きさをパレットに合わせることで保管効率・積載効率を向上）

包装段ボールのモジュール化のイメージ



段ボールの大きさをパレットに合わせることで保管効率、積載効率を向上

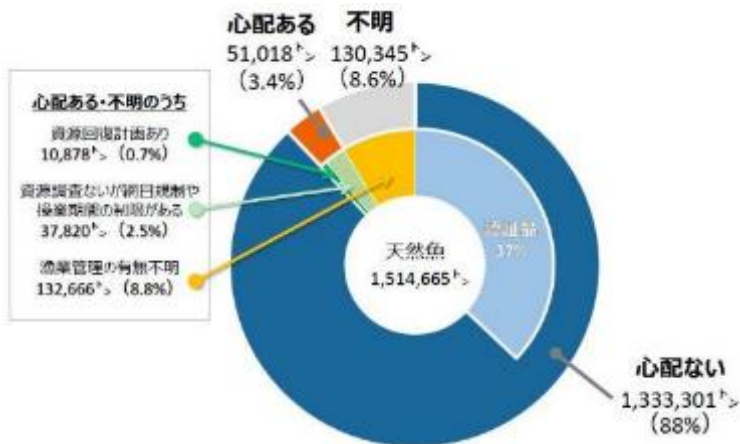
目標 1 4 : 海の資源を守り、大切に使う

食品産業とのつながり

- 多くの水産資源を利用する日本の食品産業において、その持続性の確保は喫緊の課題。
- 海洋プラスチック問題が国際的にも大きな注目。

【日本水産】

グループ全体で
調達した主な
魚（天然魚）
の資源状況を
調査



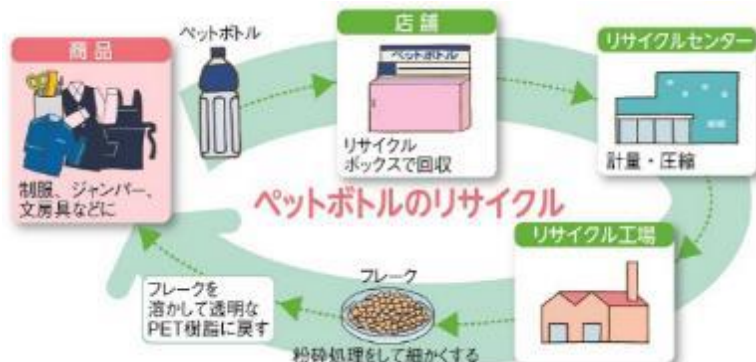
【エームサービス】

パナソニック社員食堂での「サステナブル・
シーフード」の提供



【ユニー】

使用済み容器
包装のリサイク
ルループ



【マルハニチロ】

魚に関する情報発信サイト「海といのち
の未来をつくる」を開設



目標 15 : 生きられるように大切に使う



食品産業とのつながり

- 豊かな森林は水源涵養やCO2の吸収、農林漁業を営む人々の生活を支えるものであり、食品産業の持続性にとってきわめて重要。
- 多様な生物資源は、将来の資源不足を解決するイノベーションの核となるもの。

【キリン】

キリン スリランカ フレンドシッププロジェクトによる紅茶農園の支援

- ・キリンライブラリーの設立
- ・紅茶農園による「レインフォレスト・アライアンス認証」取得支援



【明治】

明治自然環境保全区（北海道根室市）における生物多様性の保全活動



【UCC上島珈琲】

JICAの森林管理支援プロジェクト（エチオピア）におけるコーヒー豆品質向上のための技術指導



目標 16：で守られる社会をつくろう

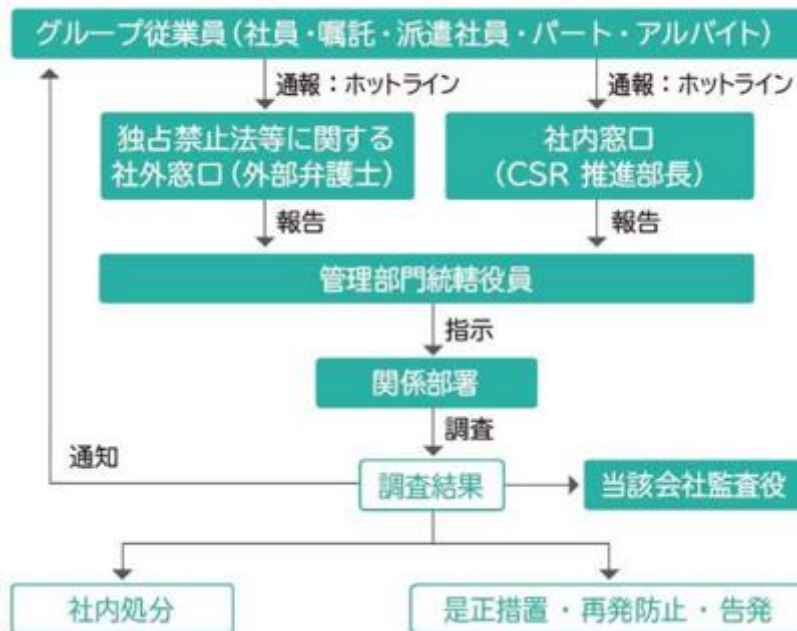
食品産業とのつながり

- 食品産業にとって、消費者からの信頼を高めていくためにはコンプライアンスの徹底が重要。
- 企業を取り巻く社会環境の変化に適切に対応し、法令や社会規範を遵守し、社会倫理に沿った企業活動を進めることが不可欠。

【昭和産業】

「昭和産業グループ内部通報規程」のもと、通報者の保護や通報処理体制を整備

■ 内部通報体制図





目標 17 : 標を達成しよう

食品産業とのつながり

- 食品産業の多くが地域性の高い中小企業であり、地域社会に支えられて経営が成立。
- 地方自治体や他企業、市民団体等と連携して行動することで、一社ではできない社会への貢献や地域での信頼獲得に。
- 取組を通じて新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たな事業の創出なども期待。

【雪印メグミルク】

北海道との包括連携協定に基づく経済活性化

- ・「酪農」の振興に関する事項
- ・「食」の安全・安心、産消協働に関する事項
- ・子育てや健康づくりに関する事項
- ・北海道の魅力ある「観光」の振興に関する事項
- ・その他必要と認める事項

【エスビー食品】

香辛料の「機能性」、「裁培育種」、「分析・評価」をキーワードにした外部との共同研究

→愛媛大学と共同で、パクチーがアレルギー症状を抑制する作用があることを見だし、特許出願・学会発表。

【一正蒲鉾】

取引先への働きかけにより、「バリューチェーン全体」で取り組む法令遵守、環境保全、労働条件への配慮などに関する認識を共有

SDGs・ESGに関する説明も実施

【UCC上島珈琲】

複数のコーヒー生産国で「品質コンテスト」を実施





ご清聴ありがとうございました

SDGsに関する取組の発信・インタビューにご関心のある方は、食料産業局企画課までご相談下さい

03-6744-7179・2064
食料産業局企画課
(志田・寺前)

【こんな事例をさがしています！】

- ・SDGsと関連づけて発信している（またはその予定の）取組
- ・本業や社員の意欲にも貢献する取組
- ・個別商品の宣伝になりすぎない取組
- ・会社の規模や取組年数は問いません！